

教育研究業績概要

氏名 西岡 淳二		
研究分野 臨床検査医学 臨床血液学、検査血液学、遺伝子検査学、腫瘍遺伝学 ファーマコゲノミクス学、		所属学会等の名称 日本血栓止血学会、日本検査血液学会、日本臨床検査同学院、日本臨床衛生検査技師会、三重県臨床検査技師会
担当授業科目名 臨床血液学、臨床血液学実習、臨床検査医学総論		
教育上の能力に関する事項		
事項	年	概要
1 教育の実践例、教育に関する評価等 特色ある授業 授業に対する工夫	2015～現在	チーム医療における臨床検査に重要性ならびに管理栄養における臨床検査の重要性を体感できる授業・教育を実施している。 <u>個別化医療を目指すコンパニオン・ダイアグノシス</u> を教育している。 学生の理解を深める目的で、課題・質問に答える形を多く取り入れた授業を進めている。
2 作成した教科書、教材、指導書等 「臨床検査学講座：血液検査学」第4版 「スタンダード検査血液学」第2版 「遺伝子分析科学：上級編」 その他1件	2012 2011 2013	共著：奈良信雄、小山高敏、 <u>西岡淳二</u> 他4名、pp179～188：医歯薬出版株式会社 共著：医歯薬出版株式会社：鈴木宏治、 <u>西岡淳二</u> 他37名、pp163～166：日本検査血液学会編 共著：登 勉、 <u>西岡淳二</u> 、他26名、pp51～57：日本臨床検査同学院 臨床病理刊行会、
3 教育実践に關係がある実務経験・委員・講師等 1) 日本検査血液学会評議員 2) 日本臨床検査同学院 3) 日本臨床衛生検査学会論文査読委員 その他2件	2000～現在 2009～現在 1993～現在	日本検査血液学会総会の開催(第9回総会、津市) 認定血液検査技師の教育プログラム委員 専門認定技師教育のためのプログラム委員および試験委員(血液学、遺伝子学を担当) 臨床検査技師生涯教育としての学会誌「医学検査」への投稿論文の査読および著者への教育
職務上の実績（学術団体や社会等における活動）に関する事項		
事項	年	概要
(資格・免許) 1) 臨床検査技師(第43831号) 2) 認定血液検査技師(第6号) 3) 認定臨床化学者(第09-001号)	1977 2002 2009	厚労省 社団法人：日本検査血液学会 社団法人：日本臨床化学会
(受賞) 1) 日本検査血液学会学術賞 2) 日本臨床検査医学会奨励賞 3) 日本臨床検査同学院「緒方富雄賞」	2003 2004 2011	日本検査血液学会：「DIC 診断に及ぼす試薬間差の影響(プロトロンビン時間、フィブリノゲン量について)」の論文に対して 日本臨床検査医学会：「過凝固病態への末梢白血球組織因子の関与」の発表に対して 日本臨床検査同学院：臨床検査医学での業績および進歩発展への貢献に対して
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等 1、「オーダーメイド医療と遺伝子検査」 2、「感染症とプロテインC 凝固制御」 他5件	2011 2011	第322回日本臨床化学会東海・北陸支部総会(金沢市)の講師として 第26回中部地区血液検査研修会(伊勢市)の講師として

研究業績等に関する事項				
著書名、報告書名等	単・共著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書) <ol style="list-style-type: none"> Increased activated protein C-its inhibitor complex levels in patients with disseminated intravascular coagulation. DIC: Pathogenesis, Diagnosis and Therapy of Disseminated Intravascular Fibrin Formation. Recognition sites for thrombomodulin, procoagulant and anticoagulant proteins around the active center of thrombin. Current Aspects of Blood Coagulation, Fibrinolysis, and Platelets Interaction site of activated protein C on protein S. Current Advances in Vitamin K Research その他 英文著書3編 和文著書5編	共著 共著 共著	1993 1993 1988	Excerpta-Medica, Amsterdam, Springer-Verlag, Tokyo, Elsevier, Amsterdam	Wada, H., Nishioka J. and Suzuki, K. p.131-138. Suzuki, K. and Nishioka, J. p. 17-22. Suzuki, K. and Nishioka, J. p. 91-104
(報告書等)				
学術論文 学会発表等の題名		発表者名	発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等	
(学術論文) <ol style="list-style-type: none"> Personalized treatment in the eradication therapy for Helicobacter pylori. Functional studies of a novel germline p53 splicing mutation identified in a patient with Li-Fraumeni-like syndrome. Protein C inhibitor secreted from activated platelets efficiently inhibits activated protein C on the phospholipid surface of the platelets and microvesicles. その他 英語論文 112編 和文論文 13編 (2006~2012)	Jinda S, Nakatani K, Nishioka J, et al. Piao J, Sakurai N, Nishioka J, et al.. Nishioka J, Hayashi, H. Suzuki, K.	Int J Mol Med. 2011; 27: 255-261 Mol. Carcinog. 2012; Apr 11. Doi:10.1002/mc.21912 「Epub ahead of print」 J Biol Chem. 1988; 273: 11281-11287		
(学会発表等) <ol style="list-style-type: none"> Regulation of angiogenesis by protein C inhibitor. Regulation of protein S expression in hepatocytes and sinusoidal endothelial cells in rats with cirrhosis. Regulatory mechanism of C4b-binding protein (C4BP) expression in rat hepatocytes by lipopolysaccharide and interleukin- その他 国際学会 5件(2006~2011) 国内学会 14件(2010~2011)	Hayashi T, Nishioka J, Suzuki K. et al. Hayashi T, Nishioka J, Suzuki K et al. Hayashi T, Nishioka J, Suzuki K et al. . .	第 20 回国際生化学・分子生物学会議. 京都 2006 第 21 回国際血栓止血学会. ジュネーブ 2007 第 5 回アジアパシフィック血栓止血学会. シンガポール 2008		
(その他) 1、血漿トロンボモジュリンの精製と測定法開発		2004	臨床検査(出血・凝固検査)として保健収載(215点)された	